
届けたい想い／FF?

深海

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

届けたい想い／FF？

【Zコード】

Z6670A

【作者名】

深海

【あらすじ】

ティーダとユウナ。あの湖でのシーンです。

「コウナ…」

月明かりが水面に乱反射し、夜だとは思えない明るさの湖の畔に膝を抱え蹲るコウナ。かけられた声に振り返ると、優しく微笑むティーダがいた。

「とひとひ…だな…」

「そうだね…終わらせなきや…」

隣に並ぶティーダを見上げると力なく微笑むコウナ。

「えつ…わやつ…」

ティーダはコウナの腕を取り立ち上るとかいっぱい引っ張り、コ

ウナと共に湖に飛込んだ。

水面から顔を出し髪をかき上げると、ティーダの手がウナの頬に触れる。

水に濡れ、月明かりに照らされキラキラと光る一人。

「ユウナ…笑つて？」

「でも…」

そつと重なるティーダの唇。

驚き身を固くしたユウナだったが、徐々に体の力を抜くとティーダの首に手を回した。

冷たい水の中で唯一熱を持つ互いの唇。

そこから熱を得ようとむさぼりあう。

だがその口付けはとても優しいものだった。

「また一緒にここに来ようつね？」

「うん」

「君のザナルカンドに行きたい。ブリッジの試合、特等席用意してくれるよね？」

「うん」

笑顔で言葉を紡ぐコウナの瞳から一筋涙が溢れる。

「いろんな所に連れて行ってくれる?...もつと...もつと、もつと...
ずっと一緒にいたいよ...」

「うん」

「...嘘つき...」

なぜだらうね。

あの時、君が遠くに行つてしまつてなんとなくわかつてたんだ。
だから無理なお願いをいつぱいした。

我が儘を言つて君を困らせた。

あの時涙を拭つてくれた君の手の温かさ、忘れないよ?
あの唇の熱さも...。

「ティーダッ...」

「ムウナ...」

消えかかる君はもつ触れる事が出来なくて。

なんで私、笑顔で言えなかつたんだろう。

「ティーダ……」

悲しそうに優しく微笑んだのが、君の最後の姿。

「俺……ユウナの事、好きだつたから……」

「過去系でなんか言わないで……ずっと一緒にいたの……」

せめて、もつと君をわざと見たいのに涙で靈んでしまつた。

「……嫌だよ……！」

「……」

「嫌だよ……！」

「……」

「嫌だよ……！」

弱い私でごめんね？

でも必ず君に届けるから。

この気持ち…君に必ず。

「大好き」

つて。

fin

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6670a/>

届けたい想い/F/F?

2010年10月14日23時05分発行